

日時 平成28年4月22日（金） 16:30～

場所 県庁新館8階 職員研修室

### 1 地震の状況

(別途気象台から報告)

### 2 被害の状況

死者数については、阿蘇市で関連死が1名増え2名となった。

関連死も含めて合計で59名。

重傷者、軽傷者は未分類のものも含めて1,284名。

住家被害状況については、未だ調査中の市町村もあるが、全壊、半壊、一部破損合計で1万棟を超える被害となっている。

避難の状況について、県計で避難所数602カ所、避難者数81,006人となっている。

避難指示等の発令状況について、15市町村において避難勧告、避難指示継続中。

なお、本日から、相談ダイヤルを設けたが、9時から16時まで26件の相談があった。緊急性があるものはなかったと聞いている。

### 3 県等の対応状況

(総務部)

被災市町村等への人的支援状況について、現在、他県を始めとした派遣職員が増え、522名まで増えている。

私立学校の休校状況について、熊本市内の学校を中心に来週も休校を決定している学校が大半で、早いところで5月2日、遅くとも5月10日の再開を予定。

(企画振興部)

航空機関係で便数が増えている。

フェリーの関係で、九商フェリー、熊本フェリーが通常運航となっている。

(健康福祉部)

1ページ目4番、5番について、各避難所のニーズに応じて救護班、いわゆる医師を置く体制、並びに保健師、各避難所を回る体制を確保している。

9番、昨日、すまいの支援PTを設置したが、仮設住宅への対応を迅速に進めるため、土木部と連携して取り組みたい。具体的には、民間の賃貸住宅を利用したみなし仮設住宅については、現在、不動産関係団体と調整し、空き住居の情報提供や情報処理体制、事務処理体制の準備を進めている。また、応急仮設住宅については、市町村の要望に応じ、建設用地の選定を進めるとともに、使用等の検討を進めている。特に、西原村については、有望な建設用地があり、現地の状況の確認を土木部に行っていただいている。

11番、今週末、熊本入りする県外からのボランティアの方々について、大学コンソーシアム熊本の協力を得て2大学から140人分の宿泊スペースを確保頂いた。

13番、義援金について、13億6千万円余となっている。

(環境生活部)

水道の状況について、玉名市が解消し水質検査を行っている。菊池市も給水開始だが、濁度の解消を待っているところ。高森町も給水開始。

廃棄物の処理状況について、ゴミ処理施設等いろんな不具合が生じているが、県外施設あるいは県内施設で広域調整をしてお世話になっているところ。

(商工観光労働部)

説明は省略。

(農林水産部)

避難所支援として、日本木材青壮年団体連合会から仮設ハウスの建込も含めた提供が行われている。4月25日に大津町に設置予定。

(土木部)

今回の地震で電柱が倒壊している状況が報告されているが、今後、さらなる倒壊が起こる恐れがある。復旧活動を円滑に進めるため、倒壊や傾斜している電柱の位置や本数を九州電力、NTTさんから災害対策本部にご報告いただきたい。

(教育庁)

下線部が変更部分。

休校情報について、確定している分を入れているが、今後動きがあると思う。

(県警本部)

昨日中断していた現場の捜索については、午前中、安全性を確認のうえ、午後から再開しているが、発見には至っていない。

道路交通の状況について、本日も九州自動車道、国道3号等主要道路に警察官を配置し、熊本市内方向について円滑な交通を確保している。

3号線について熊本市内から植木方向がかなり渋滞している。原因は、植木温泉に向かわれる方、一時期無料ということで8kmぐらい渋滞していた。昨日あたりから、有償になり若干、6kmぐらいに減っているが、依然として交通が渋滞している。

#### 4 国等の対応状況

(内閣府)

引き続き、関係機関と協力して進めていきたい。

(緊急消防援助隊)

昨日の雨の影響を考え、活動再開の検討を行うため、防災ヘリを活用し上空からの現場調査を実施している。

陸上からの調査と合わせ、本日午後、活動を決定し、13時から再開予定。

高野台では、200人を現場投入し、夜を徹した活動を行う予定。

立野地区では、無人重機による活動を国土交通省さんにやっていただいているが、それに関する地震警報器等使用による安全管理、そういったものを担当している。

各避難所等に救急隊を配置している。昨日、16時から22名の救急搬送を実施。

(自衛隊)

活動は今まで通り実施。

各避難所への物資の輸送のシステムがほぼ出来上がったので、食料等は届いている。

今後の課題として、生活用品のマッチング。それぞれの避難所で必要なものが多少違うと思うので、こまめにマッチング出来るように活動していきたい。

(警察庁)

県警本部からの説明どおり。

(国土交通省)

国道57号の迂回機能を有するグリーンロードの啓開作業を完了し、本日10時より大型車両の利用が可能となっている。

砂防関係で、南阿蘇周辺を国交省のヘリで専門家による調査を実施している。

住宅について、応急危険度判定の進捗管理を継続するとともに、増援予定の判定士派遣について引き続き調整を実施中。被災者の皆様への空き住宅紹介の窓口一本化に向けた調整も進めている。

(海上保安庁)

昨日に引き続き、熊本港、三角港、八代港で入浴支援等を行っている。現在のところ、15時現在で約500名の方に利用いただいている。

その他、午前中、病院間輸送ということで、県の要請を受け、熊大附属病院から福岡の病院まで切迫早産の妊婦さんの空輸を行っている。

(気象台)

引き続き活発な余震活動が続いているとみている。

天気について、明日の昼ごろから曇り、夜は雨。雨量は10mm程度。

(九州電力)

倒れた電柱の件については処置を行った。

阿蘇方面に送電していた送電線が土砂崩れで使えなくなっている。仮の送電線ルートを建設中であるが、昨日の雨、余震で中断し、完成が27日の予定。

(JR九州)

九州新幹線、博多から熊本の間について、明日、正午頃から運転を再開することとなった。時刻については、決定次第お伝えするが、概ね1時間に1本という形で復旧。

在来線については、明日、午後から三角線を運転開始する予定。

脱線している新幹線については、4両を線路の上に乗せて逐次、総合車両所に運搬している状態。

(西部ガス)

復旧体制については、本日付けで3,856名の体制。

中圧の復旧状況は、供給再開日の調整をしていた施設2カ所を昨日、供給開始。

低圧の復旧状況は、今朝9時現在で8,557戸、8.5%の復旧率になっている。

お客様支援策ということで、移動式のガス発生設備であるが、昨日、6件の追加設置を行っている。

(LPガス協会)

お客様相談所等において、消費者の方の問い合わせやクレームに鋭意対応しているところ。

## 5 現地対策本部長の発言

(酒井政務官)

一つだけ質問があるが、住宅診断の状況は。

(土木部)

お配りしている資料のその他のところで、21日までに113名、発生件数が県2800件、熊本市433件終わったところ。

支援をさらに要請していて、23日からはさらに増えてくるので、今まで以上にたくさんできると思っている。国交省の采配により各県にお願いしているところ。

(酒井政務官)

明日から雨ということがある。引き続き皆様にはご努力をお願いしたい。

今日、避難所に行ってきたが、まだ役所の方の体制が整っていないところがあった。職員の人数も少ないし、職員が物資の配給だとかいろいろな対応に追われて、通常の業務ができていないところがあった。そこで、全国の支援を受け、昨日から入っていただいて、いろんな調査をやっているということだった。

熊本市長にも会ってお願いしたが、ごみの分別をしないと後々とんでもないことになる。ごみの分別をしっかり指導することを、県・市町村の皆さんにお願いしたい。

まだまだ、予断を許さないし、これから皆さんの協力等をお願いしたい。

## 6 県災害対策本部長

(蒲島知事)

連日の懸命な捜索、避難者の支援、おつかれさまです。

昨日は、大雨洪水警報が発令されたため、二次災害を考慮し、救助活動を見合わせざるを得なかった。本日は、午前中に安全確認を行い、午後から活動を再開している。

一刻も早い救助を心から願っている。

避難生活も丸一週間で過ぎた。何かと不便な生活の中で、被災者の方々は、疲れが相当地に蓄積しておられると思う。

現地支援活動をされている方は、引き続き、被災された方々の気持ちにしっかりと寄り添い、各現場と本部の連携を一層密にしながら、生活支援に精一杯努めていただきたいと思う。

それでは、私から3点ご報告させていただきたい。

まず1点目は、応急仮設住宅について、西原村で、家屋の被害の概要が把握されるとともに、候補地が概ね固まったことから、建設に着手することになった。他の市町村においても、順次、条件が整い次第、整備を進めて参りたい。

次に2点目として、国が手配されたフェリー、「はくおう号」が、本日八代港に入港した。明日から、被災者の方々を一時的に受け入れる予定。避難所生活での疲れを少しでも癒していただければと思う。

最後に、先ほど、天皇皇后両陛下からお見舞金を賜った。両陛下には、地震が発生した翌日の4月15日にも、亡くなられた方へのご冥福と被災者へのお見舞い、対応している関係者へのねぎらいのお言葉をいただいている。

両陛下の国民を慈しむ深い愛情と、被災地に対する優しいお心遣いに、心を打たれ、感謝の念に堪えない。謹んでご報告したい。

皆さんも相当にお疲れのことと思うが、一日も早い復旧復興を目指して、お互いに励まし合い、一緒に頑張っていきましょう。

(以 上)